



合併10周年記念式典

平成25年2月定例会

平成25年度予算	2～5
意見書採択	5
わが町の予算主なやりとり	6～7
委員会報告	8～9
議員が一般質問	10～14
議会構成	15
新議会議員・編集後記	16



おおさきかみじま 議会だより

第40号/2013年5月2日

大崎上島町議会

☎ (0846) 6 5 - 3 1 3 0 (直通)

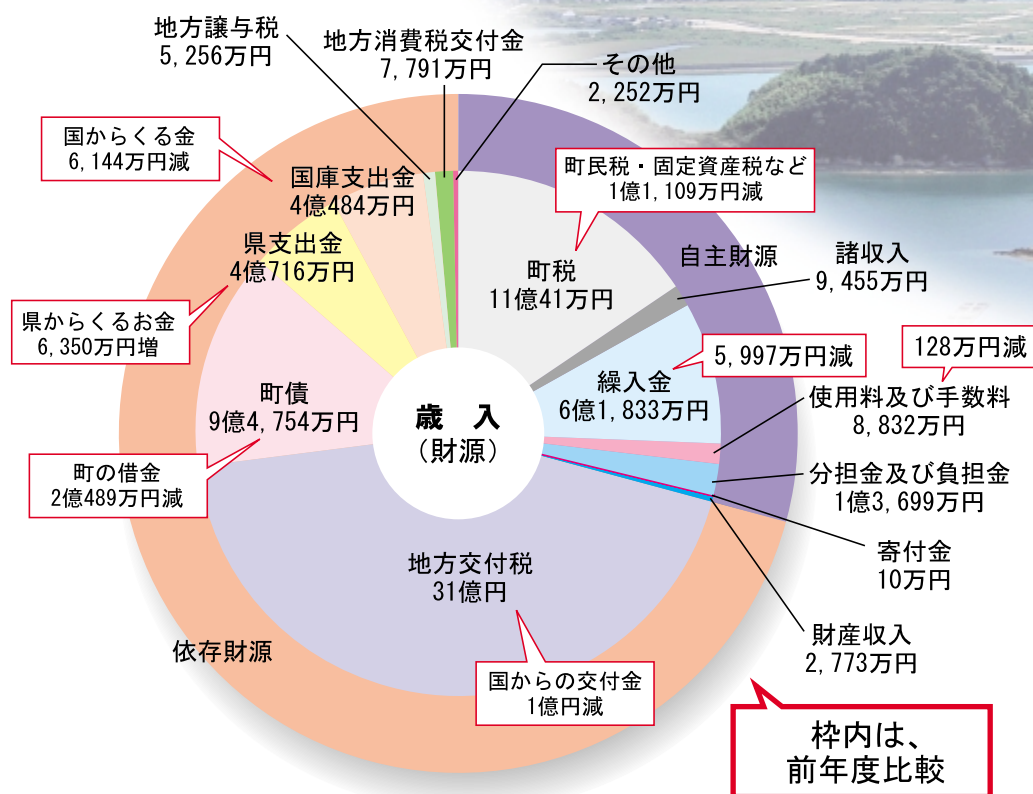
FAX (0846) 6 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL: <http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

予算を可決

110億6,515万円
10億5,284万円
29.2%



70億7,896万円

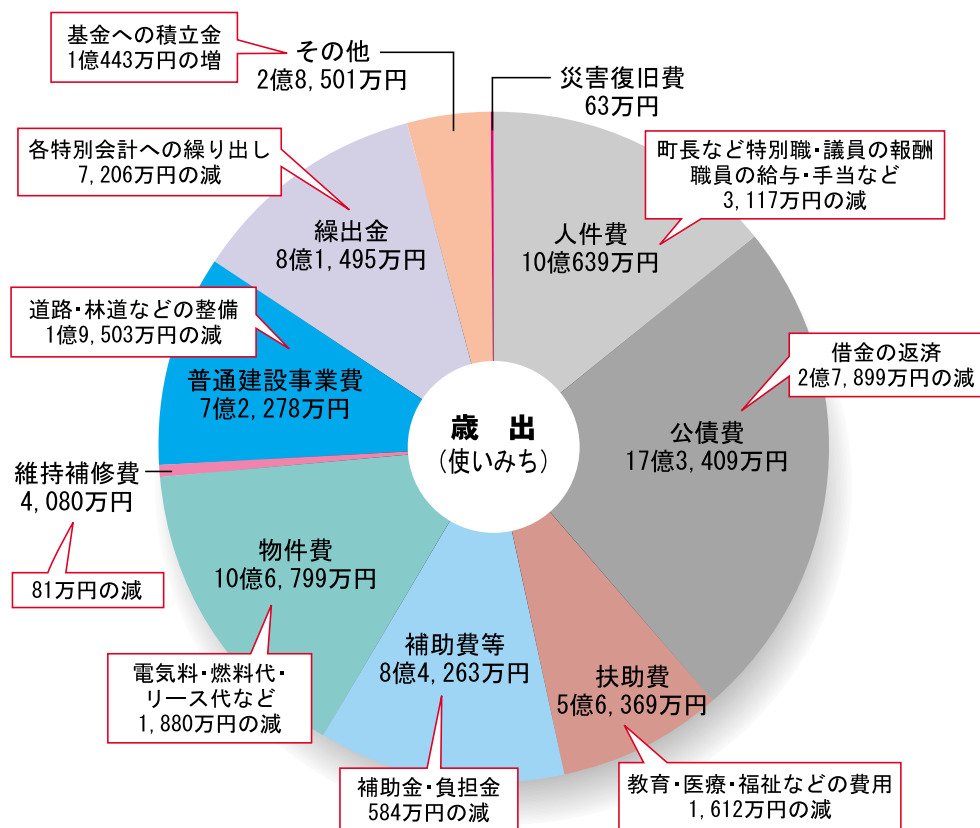
対前年比
6.8%
減額

町長 高田 幸典

- 活力あふれるまちづくり
 - 交流・定住・観光の促進
 - 農水産業の振興と後継者の育成
- 人材が育ち活躍するまちづくり
 - 婚活イベントの支援・若者の活動支援と育成
 - 職員人事交流・研修の充実
 - 中学校の生徒用パソコンの更新と教育の充実
- 行財政改革の推進
 - 長期総合計画の策定
 - 事業の抜本的見直し

平成25年第1回大崎上島町議会定例会は、2月14日から2月27日の会期で開会した。町長の施政方針に始まり、7名の議員の一般質問、1件の人事案件、条例改正を含む20件の議案、2月補正予算、新年度一般会計及び特別会計予算、3件の議員発議につき審議し、全ての案件を可決した。

予算総額(一般会計+特別会計) 今年度の町債(借金) 一般会計自主財源比率



平成25年度一般会計予算



町営フェリー

町長施政方針抜粋

● 安心安全に暮らせるまちづくり

地域防災計画の見直し、津波ハザードマップの作成
高規格救急車の配備、消防救急デジタル化整備事業の完成
木江屋内運動場の整備
子供・子育て支援事業計画の策定
ガン対策、生活習慣病対策の充実
大崎上島クリーンセンター脱水機の整備
公共下水道・小型合併浄化槽の加入促進
太陽光発電設置の推進
AED 設置
町営フェリーの新造

平成25年度 特別会計（11事業）

予算総額 39億8,619万円

国民健康保険事業

歳入・歳出予算は、それぞれ12億9,015万円で前年度対比0・1%の減です。

介護保険事業

歳入・歳出予算は、それぞれ14億9,774万円で前年度対比2・1%の増です。

後期高齢者医療保険事業

歳入・歳出予算は、それぞれ1億8,514万円で前年度対比5・4%の減です。

簡易水道事業

歳入・歳出予算は、それぞれ5億2,579万円で前年度対比4・1%の減です。

公共下水道事業

歳入・歳出予算は、それぞれ1億3,608万円で前年度対比58・5%の減です。

農業集落排水事業

歳入・歳出予算は、それぞれ3,974万円で前年度対比8・9%の増です。

漁業集落排水事業

歳入・歳出予算は、それぞれ5,561万円で前年度対比10・3%の減です。

港湾管理

歳入・歳出予算は、それぞれ1,409万円で前年度対比0・8%の減です。

漁港管理

歳入・歳出予算は、それぞれ346万円で前年度対比0・4%の減です。

交通事業

歳入・歳出予算は、それぞれ2億2,638万円で前年度対比171・6%の増です。

干拓地管理

歳入・歳出予算は、それぞれ1,201万円で前年度対比33・3%の減です。

第1回定例会(2月議会)

平成25年度一般会計予算審議においては、1人が反対討論・1人が賛成討論をし、採決の結果、賛成が11人、反対2人の賛成多数で可決成立した。

11の特別会計も全会一致で可決成立した。

決まった主なこと

○人権擁護委員

氏名 大政 昭仁 氏

住所 大崎上島町中野1582番地

○定住促進用住宅建築(2戸)	2,986万円
○高規格救急車導入、消防救急デジタル化	6,600万円
○沖浦、明石地区集落支援員事業	865万円
○木江屋内運動場建替え設計予算	1,932万円
○町営フェリー「さざなみ」建造	15,750万円
○議員定数削減による委員会条例、議会会議規則の改正等	

第1回臨時会

平成25年3月15日第1回臨時会が開会され2議案を全員一致で可決した。

○平成24年度大崎上島町一般会計補正予算

○平成24年度大崎上島町公共下水道事業特別会計補正予算

広島・長崎の原爆被爆から67年が経ちました。「再び被爆者をつくるな」という原爆被爆者の悲痛の願いをはじめとして、我が国の非核三原則を国是とする核兵器反対の政策は、世界中の国々、国民を動かして幾度となく訪れた核兵器使用の危機を防いできました。

非核三原則の早期法制化を求める意見書

意見書採択



○議会議員14年以上
広島県町村議会議長会表彰
浜田 明利議員

自治功労者表彰

そして核兵器廃絶をめざす潮流は、さらにその流れを強めています。一昨年3月の東日本大震災による福島原発事故は、核による放射能の恐ろしさをあらためて確認させるとともに、今なお多くの国民が苦難な生活を余儀なくされています。今こそ日本は原爆被爆国として、また今現在放射能汚染の危険性を身をもって経験している国として、核兵器廃絶に向けた主導的役割を果たすべきです。

そのためにも「非核三原則」を国是として掲げるだけでなく、その法制化を早期にはかることによって国際的な世論のリーダーとしての明確な意見を示すことができるものと信じます。

国会及び政府においても、世界諸国、諸国民からの大きな期待を踏まえ、「非核三原則」の法制化を早期に実現されるよう要請します。

主なやりと

問 職員の研修と人材確保をどのように考えているのか。(赤松議員)

答 細かな研修と指導で事務の円滑な遂行に努めるとともに、研修を通じて職員の質の向上を図っている。(総務課長)

問 有害鳥獣対策の充実を。(赤松議員)

答 イノシシ対策は引続き柵の設置補助を実施するとともに新たに大規模捕獲柵の設置、免許取得補助を予算計上している。カワウは猟友会に駆除をお願いする。(産業観光課長)

問 既存の高潮対策施設の点検・修理は。(赤松議員)

答 地元区長さんから情報を得ながら随時修繕していく。(建設課長)

問 自殺対策の取り組みは。(赤松議員)

答 平成25年度事業は、講演会・ゲートキーパー研修会等と保健師と1人1人との連携でより効果ある事業を実施する。(保健衛生課長)

答 学校ではスクールカウンセラー等を配置し相談等による予防対策をしていく。(教育長)

問 木江屋内運動場の建設は慎重に対応を。(赤松議員)

答 南海トラフ地震が想定される中、防災の観点からも、事業実施時期の不透明な県道改良工事を持つのではなく、早期に建設したい。(町長)

問 新年度における公共交通の利便性向上の具体的な目標は。(中村議員)

答 交通問題協議会、公共交通連携協議会の意見を踏まえ陸上交通・海上交通の再編にむけ取り組む。(企画振興課長)

問 若者定住にむけた人材育成の取り組みは。(中村議員)

答 具体的事業内容はないがリーダー育成事業費を計上。(企画振興課長)

問 今後増える交流人口に對しどのような観光施策を考えているのか。また町の活性化にどうつなげていくのか。(中村議員)

答 観光案内対策事業として観光ボランティアの育成・拡大や、ガイド本の作成に取り組む。(産業観光課長)

問 文化祭と産業祭の統合について各団体の意見を踏まえ実施を。(赤松議員)

答 産業祭の日程に併せ文化祭の芸能発表会を開催し、各種展示等は文化の日に併せ実施する方向で検討。(産業観光課長・社会教育課長)



産業祭

わが町の予算

問 水産業に対する町の位置づけは。今後の展望をどのように構想しているのか。
(中村議員)

答 水産業は農業とともに町の主要産業で交流においても大きな要素である。どのように漁業振興・販売促進を図るかが大きな課題であるがしっかりと検討し積極的に取り組んでいく。(町長)

課長)

問 既存の農業者に対する支援策は。(越田議員)

答 現在、国・県の支援策は資金貸付に対する利子補給のみであり、施設導入補助等の新たな支援策の新設を要望している。(産業観光課長)

問 「東京家族」ロケ地への案内表示、お土産の充実を。(藤原議員)

答 のぼり旗の設置をしているが増やすことを検討している。またお土産についても販売店の確保に取り組んでいる。(産業観光課長)

問 消防積載車の整備は。(藤原議員)

答 消防団全体の積載車、消防ポンプ車が老朽化しており、平成25年度で整備計画を作成し、平成26年度から順次整備します。(総務

問 現在の道路事情にそぐわない橋梁は修繕でなく更新すべきでは。(閑田議員)

答 長寿命化に向けた修繕を行うことで2割のコスト削減が図られるが、道路事情にそぐわないものは補強か架け替えが見極め対応する。(建設課長)

問 厳しい財政の中、地元民間と役場職員との給与の格差是正は。(閑田議員)

答 現在は人事院勧告に基づき給与を決定している。今後については検討課題。(総務課長)

問 観光による経済効果をどの程度見込んでいるのか。雇用の確保は。(閑田議員)

答 来町者が増えていることは確かだが、経済効果については今後検証していきたい。新たな雇用が生まれるかどうかはわからない。(産業観光課長)

問 集落支援員事業は地元理解のうえ実施を。(信谷議員)

答 地域が主体的に運営する事業であり、地域住民の十分な理解を得て実施していく。(町長)

答 各組織との調整が必要ではあるが、集落の維持・活性化にむけ先行モデル的に導入し、実施経過を踏まえ運営形態や支援の役割を検証し、広域的な取り組みとしていく。(企画振興課長)

問 児童虐待対策事業の内容は。(信谷議員)

答 主に児童虐待に対する講演会の実施委託料です。(福祉課長)



総務福祉文教常任委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：越田賢一
委員：西田 巧 中村修司 関田大祐
藤原龍秀 辰田真司

平成24年度補正予算と新年度予算の審議を行った。

総務課

- ・大串へリポート基地整備事業は地元と調整ができたので来年度建設する。
- ・生野島のバンガロー等の売買は関係者との話が進まず、道路拡張など今年度の関連事業は中止する。
- ・通学路の防犯灯の増設については、教育委員会から通学の問題ないとの回答があり増設の予定なし。

- ・国の大型補正予算に伴う町の新規事業は実施設計ができていないため困難。来年度予算の前倒しになる見込み。
- ・財産寄付について、木江地区住民から土地・建物の寄付の申し出があり現在検討中。
- ・平成25年度事業で大崎上島消防署に高規格救急車を配備。
- ・防災避難施設を兼ねた木江屋内運動場建設にむけ設計費1932万円を計上。



ふれあい郷土資料館

教育委員会

- ・来年度の幼稚園、小・中学校の人数とクラス編成の予定、大崎上島中学校3年生の進路の説明を受けた。
- ・来年入園する幼稚園児の保護者に通知文を出しているが、幼稚園統合の考えは、↓まだ決定していないが決定すれば議会に提示し、保護者に説明する。
- ・エコ教育で電力監視装置を設置するが、電気使用量の抑制にならないように。
- ・ふれあい郷土資料館・木江運動公園の指定管理は「ホテル清風館」に任せるのではなく、町も共同で施設の有効活用を検討すべき。
- ・文化ホールのイベント予算が未計上だが、町民の幅広いアイデアで施設の有効活用を。↓今後のイベントは町が責任を持って実施する。

福祉課

- ・グループホームの建設は予定通り3月には完成する。入居要綱について協議調整中。



ふれあいの館

企画振興課

- ・平成25年度から沖浦・明石地区をモデル地区として総事業費865万円で集落支援員事業を実施。地域支援員（専任者1名と各区の兼任者7名）が補助金で購入した車両での高齢化で病院や買い物に行けない住民の外出支援や、空き家バンクを利用した地域への定住の斡旋するなど地域の活性化を図る。
- ・定住促進用住宅2棟を大串地区に建設。（オール電化、住宅用太陽光発電設備付）

- ・新年度体験型修学旅行の受け入れは中学校3校、高校1校。

住民課

- ・ふれあいの館のカラオケルーム・身障者用トイレ改修費として1028万円計上。

議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は **6月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

産業建設常任委員会報告

委員長：信谷俊樹 副委員長：浜田明利
委員：松原 茂 濱中国雄 前田 太
蒨田篤雄 渡辺年範

平成24年度補正予算並びに平成25年度当初予算、各課の懸案事項について説明を受け審議した。

◆建設課

工事の遅れている箇所、原因、今後の対応について説明を受け、工期内に執行するよう、また今後このような事案が起きないように求めた。

住宅家賃の滞納問題では、町の財政が圧迫する状況下では、強制執行も視野に入

れ、全納に向け町全体で取り組みよう提言した。

町道明石原田線道路改良工事は国の予算の関係で数年かかるとの説明があった。

白水・契島間の町営フェリーの新造船建造は、今年度航路改善協議会を設置し計画を策定中であり平成25年度に設計・建造を予定している。建造トン数による補助金や船員数の問題など未解決の問題があるので十分精査するよう要望した。

生野島の町道待避所設置工事は、用地交渉は順調だが施設の売買が進まず今年度工事は中止すると報告があった。

新年度予算では歳入で住宅費、国庫補助金や災害国庫支出金が減額され、歳出では治山費、道路維持費、町営住宅管理費、住宅耐震診断費、道路災害復旧費が減額となっている。

◆産業観光課

平成24年度の大崎上島町未来創造支援事業の概要及び現状説明と、第1次産業

の今後5か年間の事業実施による成果予想の説明を受け、特定な事業者ばかりでなく、すべての対象者がこの事業に参入できる環境整備を要望した。

今後の懸案事項は大崎東地区畑地総合整備事業と鳥獣対策の具体的な実施検討、東野自然休養村の管理など。新年度予算では農水産業振興費、観光振興費の予算の説明を受けた。

農地集積担い手育成事業では、柑橘産地としての基盤確保が緊急の課題であり、新規就農者への優良農地の集積が円滑に推進されるよう取り組みを要望した。

◆上下水道課

公共下水道等の施設管理は、町内業者で対応可能なものは委託していくように要望した。

現在の下水道加入率は、公共下水道で加入率70%農業集落排水では69%魚業集落排水では42%との説明があったが、本来は100%加入で収支が合うが、目標

数値が低すぎると苦言を呈した。

また、合特法に基づく合理化事業実施に関する協定の締結案について説明を受け了承した。

当初予算では、環境衛生費、簡易水道情報化推進事業費、特別会計関係予算について説明を受けた。



水産振興事業



お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合は、ホームページの注目記事「〇〇議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

※録画の視聴は町議会メニューの議会録画中継配信でご覧いただけます。

一般質問

7人の議員が12項目を質問

町政を問う



にしだ たくみ 議員
西田 巧

質問（西田議員）

本町の公債比率と経常収支比率について。現状の財政を推計しても交付税、町税を含め八億円に近い減収が見込まれ今後の収支比率は増加するが、その対応はどのように是正するのか。

答弁（総務課長）

現行施策の中では容易でないと思うが、財政の硬直化の是正なくして産業の育成はできないので滞納金についても完納を目標に一層の努力を重ね経常経費の見直しを行い健全な財政運営

問

財政構造の硬直化への対応は

答

健全な財政運営に努める

に努めたい。

問

職員

職員の給与の削減は

答

今後調整していく

質問（西田議員）

国家公務員と地方公務員の給与格差は正による地方交付税の削減はあるのか。町内企業の実態を考え職員給与の調整を図るべきでないのか。

答弁（総務課長）

国の示す基準から試算すると多くの削減はないと思うが、今後職員の定員管理の中で調整していく。



大崎上島町役場本庁舎



大串分譲地

問

定住促進住宅整備事業は適法か

答

再検討し進める

質問（西田議員）

定住促進事業として町が計画している事業方法は行政法上適法とは思わないが。

答弁（企画振興課長）

計画立案による行政法上抵触する部分があるかどうか再検討し事業を進めたい。



越田 賢一 議員

問 通学路に防犯灯の増設を

答 区の要望に沿って設置する

灯の間隔が近い場所でも設置が必要なこともあり、区長 区長の要望に沿って行っている。設置費は現在、三分の二を町が負担。当面、この負担割合を変更するのは困難。

答弁（教育長）

通学路については問題がないよう、安全点検は毎年行っていく。

再質問（越田議員）

平成25年度、津波のハザードマップに予算を組んでい

るが、災害は夜にも起こり得る。避難路という観点から、整備をするべきでは。

答弁（総務課長）

避難路については来年度、防災計画を見直して全般的な検討は必要と考えている。

答弁（教育長）

高校生の夜間の下校については、県の教育委員会の管理だが、一般町民も含めての安全管理ということで、行政の方へお願いして頂きたい。

また、避難マニュアルも作成しているため、警報が出た場合、マニュアル等に従って避難できるものと思っている。



信谷 俊樹 議員

問 町立幼稚園の基本方針は

答 再検討する

答弁（教育長）

教育委員会会議で検討して、幼稚園再編整備基本方針案として平成23年10月の委員会で提示したが、その後の情勢の変化の中で案を全面

撤回し、再度基本方針について慎重に検討しているが、具体的な方針を出すまでに至っていない。

保護者・地域住民の意見を聞き、説明する場を持つ

質問（信谷議員）

町立幼稚園再編成の基本方針の協議の現状と結果、今後の課題・考慮すべき事項・スケジュールは。



幼稚園



まえだ ふとし 議員
前田 太

問

倒壊危険家屋に対策の進捗状況は

答

来年度初めに実態調査を行う

を施さなければ、近い将来

にも町民の生命財産に直接

の危害が及ぶ恐れがある。

一刻も早い対策を求める。

また、この問題の担当窓口

設置を求めたが、対応はど

うなったのか。

答弁（総務課長）

実態調査は来年度初めの

区長会で協力を依頼し行い

たい。町は所有者が自己責

任で行うのが原則と考え、

必要な対策を要請できるよ

う空家の戸数、位置、所有

者の調査をしたい。担当課

は、当面実態調査について

は総務課で実施する。

再質問（前田議員）

まさに倒れんとする家屋

に対して、自己責任を果た

すのを待つということでは

果たして町民の安心・安全

な生活が保障できるのか。

十分な調査の上で迅速な取



県道

答弁（総務課長）

実態調査を踏まえた上で、

問題点を明らかにしたい。

あとの対策については今後

の検討だと思う。

り組みを求める。

答弁（建設課長）

改善要求はしている。し

かし、国の定めた省令海岸

保全施設技術上の基準で構

造が定められており、蓋は

できず、補助金をもらう限

りは仕方のない構造で、県

も必要に応じてポールの設

置など安全対策は検討する

との回答である。

答弁（町長）

危険であることは認識し

ているので、直接県へ要望

する。

問

県道と歩道との間にある側溝は構造上の欠陥では

答

国の基準によっている

る際足を踏み入れ五、六人

がけがをしたので蓋をする

よう求めたが改善されず、

同じ構造のもとで、古江垂

水区境界付近で同じ事故が

起きた。また、上島造船付

近でも同様の事故がおきて



わたなべ のぶのり 議員
渡辺 年範

質問（渡辺議員）

以前、白水フェリー

より矢弓方面へ行く県

道沿いの車道と海岸側

の歩道との間に蓋のな

い側溝があり、横断す

いる。幸い二件とも軽傷で

済んでいる。前回は、横断

すべきでないところを横断

する住民が悪いとの答弁で

あったが、住民が安全に暮

らせるようにインフラ（生

活基盤）整備をするのが行

政の仕事であり、事故が起

こった以上、そのインフラ

は構造上の欠陥があるとい

えるのでは。

蓋をするなどすぐに対処

するのが通常であって、県

に改善要求すべきでは。



あかまつ よしお
赤松 良雄 議員

問 町内の就業者増の取り組みは

答 町単独の就農補助金は困難

質問（赤松議員）

町内のハローワークには現在52件の求人登録がある。

島根県海士町は地域おこし協力隊の制度で3年間、みかん農家に研修生として就農し、

月給15万円、4年目以降は、12万5000円を助成し、福利厚生は各種社会保険・町営住宅または空き家などを格安にて提供する。神石高原町でも就農支援金の支給を行っている。

長崎県松浦市では漁業活

動を中心とした就業者の受入体制を整備し、後継者の拡大を図っている。

町が、活性化につながる就職目標を設定すべきでは。

答弁（産業観光課長）

国や県の支援策で就農支

援を実施する。漁業は今後検討する。

答弁（町長）

町単独では実施困難である。

問 町づくりについて

答 単年度では効果が現れない

質問（赤松議員）

町長は①安心安全に暮らせるまちづくりなどを掲げ今年の施政方針で具体的事業を列記して説明しています。2年間で振り返っての町長の課題と今後の目標は。安心なまちづくりのために、中学校までの医療費無料化や雇用の拡大を検討すべきでは。

答弁（町長）

どの施策も単年度では効果が現れない。色々な指摘は真摯に受け止める。来年度行政懇談会を実施し説明する。

答 積極的な運用をする

問 ドクターヘリ運用の取り組みは

質問（赤松議員）

広島県は今年の7月から現在行われている救急ヘリをドクターヘリに移行し運用される。ドイツではドクターヘリ導入後、交通事故の死亡者が1/3に激減している。ドクター

ヘリを用いる最大の利点は、救急患者のいる救急現場に医師・看護師を素早く送り届け、すぐさま救命処置を開始し、適切な医療機関への迅速な搬送が可能になること。救急患者への適切な治療がいち早く行われることにより、救命率の向上や

後遺症軽減が見込まれることである。医師会との連携や町民周知など今後の取り組みは。

答弁（総務課長）

出動要請は原則消防署が行う。積極的な運用をしていく。



ドクターヘリ

答弁（保健衛生課長）

4月からテスト飛行する。本格運用後医師会に説明する。



かんだ だいすけ
閑田 大祐 議員

問

政府の防災対策と町の高潮対策の関連性は

答

国や県に要望する

質問（閑田議員）

現政権は公共事業の拡大を打ち出しており、防災対策に重点を置くことを表明しているが、当町の高潮対策に当てはまるのか。

答弁（建設課長）

県では、国の追加補

正予算に対する大崎上島町分は、沖浦地区の道路改良事業と木江地区の張り出し橋補修調査設計、原田地区原田池整備事業が対象となっている。

高潮対策については、盛谷地区・大西地区・木江地区が12月補正予算で対応しており、追加補正は活用し

ないとのこと。

町独自では、国費の社会資本整備総合交付金事業で2箇所を要望している。その他の他は、こういった事業が補正の対象となるのか県に照会中だ。

再質問（閑田議員）

隣の今治市大三島町では

答弁（建設課長）

津波対策事業が大規模に実施されている。隣の島でこのような補助メニューが活用できているのに、当町はなぜできないのか。

色々な方面から補助メニューを探り出したとは思っている。周辺自治体も

問

畑地帯総合整備事業についての考え方は

答

受益者の負担軽減に努める

質問（閑田議員）

広島県の新規事業である畑地帯総合整備事業について、次のことを伺う。

①事業規模及び事業期間。

②計画する畑地帯の再生・作付面積と経済効果。

③排水機の規模・能力および設置後に想定される維持管理費の規模。

④受益者負担について現時点での考え方は。

答弁（産業観光課長）

①国52%、県20%、町と受益者で28%の負担割合、概算事業費は8億円で、25年度に調査設計、工事は26年から30年の5カ年となる見込み。

②受益対象面積32ha、うち荒廃地整備が10ha、東原下の農地造成が2haとなる。

野菜、かんきつ、レモンを中心に検討している。1haあたり500万円の売り上げを目標に植え付けを検討している。

③排水機については事業費の大半を占めるが、25年

度の県の調査により決定するため、現在は把握していない。

④受益者負担は個人事業に係る部分の約5%、反当が、徴収の時期や方法などは、工事完了までに検討する。



シトラス上島

含めて情報収集を行い、改めて県にも要望していく。

副議長



信谷 俊樹副議長

議長



浜田 明利議長

委員会委員決定

産業建設常任委員会 (6名)

企画振興課、産業観光課、建設課、上下水道課の所管に関する事務



委員長 前田 太
副委員長 浜田 幸造
委員 辰田 真司 渡辺 年範
蒔田 篤雄 浜田 明利

総務福祉文教常任委員会 (6名)

総務課、税務課、住民課、福祉課、保健衛生課、教育委員会の所管に関する事務



委員長 越田 賢一
副委員長 赤松 良雄
委員 信谷 俊樹 尾尻 康二
閑田 大祐 道林 清隆

広報調査特別委員会



委員長 閑田 大祐
副委員長 道林 清隆
委員 辰田 真司 越田 賢一
前田 太 浜田 幸造

監査委員(議会選出)



閑田 大祐議員

大崎上島町議会議員

3月24日の大崎上島町議会議員選挙において、新たな議員12名が決まりました。

平成25年4月1日から平成29年3月31日までの4年間、大崎上島の町政の発展のために活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



ふりがな ことしだ けんいち
名前 越田 賢一
住所 原田525-3



ふりがな たつだ しんじ
名前 辰田 真司
住所 大串641-2



ふりがな はまだ あきとし
名前 浜田 明利
住所 東野1211



ふりがな はまだ こうぞう
名前 浜田 幸造
住所 木江5076



ふりがな まえだ たいし
名前 前田 太
住所 木江巳5158-1



ふりがな まきた あつお
名前 蒔田 篤雄
住所 東野1720-6



ふりがな わたなべ としのり
名前 渡辺 年範
住所 東野163-1



ふりがな あかまつ よしお
名前 赤松 良雄
住所 原田2-13



ふりがな かんだ たいすけ
名前 閑田 大祐
住所 中野1470-2



ふりがな どうりん きよたか
名前 道林 清隆
住所 中野5830-7



ふりがな のぶたに としき
名前 信谷 俊樹
住所 明石2492



ふりがな おじり やすじ
名前 尾尻 康二
住所 中野3548

編集後記



議会議員の改選期です。本号が、現在の広報委員による最後の発行です。町民の皆様にはわかりやすく、読みやすい広報になるようにと務めたつもりですが、いたらない所もたくさんあったのではと反省しています。

町民の皆様のために
もっと充実した内容となるよう新広報委員に託したいと思います。

(W・T)

広報委員

委員長
副委員長
委員

渡辺 年範
閑田 大祐
濱中 国雄
中村 修司
越田 賢一
蒔田 篤雄